

子どもたちを前進させたもの

保育をしていると、子どもの行動や成長にハツとする瞬間があります。

初めての寝返り、初めてのハイハイ、初めての歩行、初めてのことば…と、そのシーンに出会ったびに感動し、喜びや時には学びも与えてくれます。



初めての一歩

（体の成長）

1歳1ヶ月で入園したKちゃんは、1歳6ヶ月になつても

歩く様子が見られず、ハイハイ  
いや、つかまり立ちでの生活  
が続いている。お母様は、

周りの子が歩く姿を見て不安を感じられ、相談に来られたこともありました。発達には個人差があること、保育園では歩行に結び付くよう、筋力をつける運動遊びを多く

取り入れていることを伝え  
保育園と家庭で連携をとり  
ながら、一緒にKちゃんの発  
達を見守つていきました。

1歳8ヶ月を過ぎたある日のこと、床から手を離し、ゆっくり立ち上がったのです。その様子を見ていた私は、少し離れた所から両手を広げ「ヨイ、ヨイ。」と声をかけると、

自我の芽生え

(心の成長)

Kちゃんの歩行に関して  
不安を感じながらも、我が子  
を信じて、待ち続けてこられ  
たお母様や、保育援助の工夫  
など、いろんなきっかけがK  
ちゃんを一步前進させたよ  
うです。

毎日 肌と肌のふれあいを続けました。そうしていくうちに、抱っこをすると、とても喜びうれしそうに笑うようになりました。また、少しずつですが、自ら甘えてくるようになりました。

ある日、外遊びから部屋に戻るときのこと。「給食食べるために、お部屋に入ろうね。」と手を握り、入ろうとした瞬間「ギャー」と大声で泣き出しました。抱っこしようとしても嫌がり、反り返つて大泣きするAちゃん。初めての自己主張でした。「もつと遊

何度も失敗を繰り返しながらも『初めての一歩』を踏み出したのです。保育士みんな

りも保育士と過ごしている時間が長いはずなのに、保育士に甘えることがあまりなく、私たちのかかわりが薄いのでは？と不安を感じ始めました。担任同士で意図的にふれあいを多くとろうと話しあい、抱っこをたくさんし、毎日、肌と肌のふれあいを続けました。そうしていくうちに、抱っこをすると、とても喜びうれしそうに笑うようになりました。また、少しずつですが、自ら甘えてくるようにもなりました。

びたかつたんやね。ならもう少しだけすべり台してからお部屋に入ろうね。」と気持ちをくんであげると、納得したように笑顔になりました。

Aちゃんとのふれあいを深め、思いを受容していくことで信頼関係ができました。

そこからAちゃんは、自分の気持ちを思いきり出すことができるように『自我』という形となつて心が育つていきました。

この他にも数え切れないほどたくさんの成長があり、その一瞬一瞬の喜びや感動を、子どもたちや保護者の方と共に味わってきました。

そんな日々の中、悩んだり、

行き詰まつたりすることも

ありました。子どもたちの成長からは、とても強いエネルギーを感じ、この子たちの、より健やかな育ちのために、自分もがんばらなければ、と励まされ、前に進む力を与えられました。

子育てをしていると、思わず笑ってしまうような、かわいい場面を見る事もできます。こんな姿も、成長してきている証ですね。

#### (嗅覚の発達) 1歳

●園庭に散歩に出かけた時のこと。栽培しているトマトの葉っぱを近づけたところ、思わず身をよじるDちゃん。実はトマトが苦手です。

#### (思いやり) 1歳2ヶ月

泣いていた子がいたので、その子の横にいたAちゃんに「なでなでしてあげて」と言つと、自分の頭をなでなでしていました。

#### (友だちとのかかわり)

1歳3ヶ月

これからも、一人ひとりに応じたかかわりを大切にしながら、温かい愛情を注ぎ、心と体の前進へとつなげていきたいと思います。

●お友だちにおもちゃを渡していたEちゃん。「あーとっ」と言って、自分の頭をペコペコ下げお礼をしていました。



毎日生き生きとした表情で遊ばれています。

足羽東保育園  
保育士 大島直子

## みんなの広場

5歳児が2人一組になり、新年のカルタを作りました。  
頭文字にちなんだ絵も2人で考えました。「あけまして…」



おもち



めんどり



ディノスクスワニ



とら



うさぎ

「網で焼いたみたいに、焼き色つけてみた！」

「本物そっくりに書きたくて、図鑑で調べたよ。」

「電話、電池、電気うう～ん…。よし！これに決めた。」  
(本で調べました)

「とらの模様ってこんなんかな？お顔がポイント。」

「うさぎと虫って仲良しでしょ。」  
**今年の干支は私**